

沖縄の民話「木々の由来」に出てくる 木々の生えている場所と役割を調べる



伊東真結

名護市立屋部小学校4年

1. 目的・動機

(1) 動機

私は、3年生の童話・お話し大会で学年代表として沖縄の民話「木々の由来」を発表しました。残念ながら学校代表にはなれませんでした。多くの人達の前で発表するという良い経験をする事ができました。発表を何度も何度も練習するうちに、私は、そういえば屋部小学校のすぐ近くのフクギが民話に出てくるのと同じように家を守るように生えていることに気がきました。そう思いだすと、名護市の街の中にあるひんぷんガジュマルは岩を抱いているのかな？民話に出てくる他の木はどこに生えているのか、また、民話と同じような役割をしているのかどうかとも知りたくなりました。

(2) 目的

この研究では、①民話の由来、②民話に登場する木々がどこに生えているか、③民話に登場する木々の役割、これらの3つについて私の住んでいる名護市周辺で調べてまとめることを目的としました。

2. 方法・内容

(1) 民話の由来についての調査

民話の由来は、まず、名護市の中央図書館で調べました。しかし、図書館では「木々の由来」に関する資料を見つけることができませんでした。そこで、新報サンエンスクラブのフォローアップを申し込み、沖縄の民話にお詳しい名護市教育委員会の比嘉さんをご紹介いただき、「木々の由来」についての話をお聞きすることができました。

(2) 木々の分布と役割についての調査

比嘉さんのアドバイスをもとにして、実際に民話に登場する木がどこに生えているのかについて私の住んでいる名護市周辺で調べました。見つけた木の場所を地図に記録しました。次に、それぞれの木について、葉、枝、みきの特徴や、生えている状態を観察しました。また、民話に出てくる内容と同じような役割をしているのかどうかを観察しました。

3. 結果

(1) 民話の由来について

詳しい話をお聞きした結果、以下のことがわかりました。

- ①石垣市に住んでいたひらえさんただ一人から伝え聞いた話である。
- ②八重山の島々というのが話に出てくることから八重山地方の民話である。
- ③八重山のどこの民話であるのかははっきりわからない。
- ④八重山のだれが考えたのかはわからない。
- ⑤神様が出てくる神話のような伝説のお話である。

これらのことから、研究をはじめる前は八重山にも行き民話の由来を調べる予定でしたが八重山で詳しい話をお聞きするのが難しいと思ったので、私の住んでいる名護市周辺だけで調査と研究をすすめることにしました。

(2) 木々の分布と役割について

私の住んでいる名護市周辺で分布しているところを探しました。また、みつけた木の観察と図書館にある図鑑を使ってそれらの木の役割を調査しました。

①フクギ

私の通学している屋部小学校の近くにフクギ並木がありました。フクギのみきは太くじょうぶそうで台風の後でも1本も倒れていませんでした。家を囲むように植えられていました。これらのことから、民話と同じように家を守っているようでした。



写真1. 屋部のフクギ並木



写真2. 太くじょうぶなフクギのみき

②マツ

名護市の中央図書館の近くの宮里公園に松林がありました。公園の中に植えられており、民話と同じように町を守っているようでした。

③クワ

クワは、私の住んでいるアパートの敷地の中に植えられていました。家の周りに植えられており、民話と同じように生えていました。

④タケ

タケは、大宜味村のター滝に行く途中の小川の周りにたくさん生えていました。山の奥に生えていて、民話にあるように山崩れしないように山を守っているように思いました。また、根は民話と同じように横にはりめぐらされていました。

⑤クバ

安和小学校近くにある安和のクバのうたきにたくさん生えていました。クバには大きく広い葉がついていました。図書館で調べたら、その大きな葉は、民話と同じようにうちわや笠に利用されていることがわかりました。

⑥アダン

21世紀公園の海岸にたくさん植えられていました。民話にあるように海岸が大波に削られないように島を守っているようでした。また、民話にあるようにトゲがいっぱいついていました

⑦ソテツ

屋部小学校の花壇に植えられていました。民話では、神様に岩だらけのやせた土地に住むように言われたのですが、植えているところは岩だらけの土地ではありませんでした。しかし、図書館で調べたら、島がききんになったときには体を投げ出して人間を救いなさいとあるように食べ物が少ない時には食べられていたことがわかりました。

⑧アコウ

屋部小学校の近くの平和の塔の近くにたくさん生えていました。そこは、岩のある丘になっていて、民話と同じように生えていました。



写真3. 花壇に植えられているソテツ

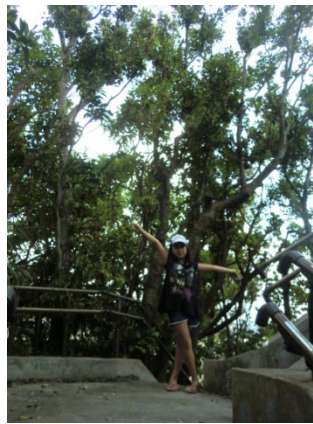


写真4. 平和の塔の丘に生えているアコウ

⑨ガジュマル

名護市の街の中にひんぷんガジュマルがありました。そこは岩だらけのところではありませんでしたが、よく観察すると写真6のようにコンクリートの柱を抱えていることがわかりました。



写真5. ひんぷんガジュマル



写真6. ガジュマルが柱を抱えている様子

4. 考察

(1) 結果からわかったこと

今回の研究で調べた中では、民話にあるような場所に生えていた木は、フクギ、マツ、クワ、タケ、クバ、アダン、アコウ、ガジュマルの8つでした。多くの木が民話の通りに生えていることがわかりました。場所がちがっていたのは、ソテツでした。でも、ソテツを見つけたのは学校の中だったので、岩場を探したら生えているのがみつかるかも知れないと思いました。今度は、岩場を探してソテツが生えているかどうか調べてみたいです。また、すべての木は、民話に出てくる内容と同じような役割をしていると思われました。これらのことから、民話に出てくる役割は本当なのだとわかりました。

(2) 不思議に思ったこと

八重山の民話である「木々の由来」に出てくる木は、すべて、私の住んでいる名護市に生えていることがわかりました。名護市と八重山は遠く離れているのに、すべて生えているのが不思議に思いました。今度は、おじいちゃん、おばあちゃんが住んでいる大阪や北海道でも同じようにこれらの木々が生えているのかを調べてみたいになりました。でも、冬の大阪や北海道は沖縄よりもずいぶん寒いので、生えていない木も多いのではないかと思います。

(3) 次にチャレンジしたいこと

この研究では、木々の分布や役割をみてまわって調べました。観察を通して、これらの木のまわりにも草、木、昆虫などのたくさんの生き物があることがわかりました。次は、それらがどのような関係で生きているのかを調べてみたいと思います。

